

# 第2期かわちながの森林プラン

～森で育まれた自然の恵みを活かし、多様な主体により守り育てる～

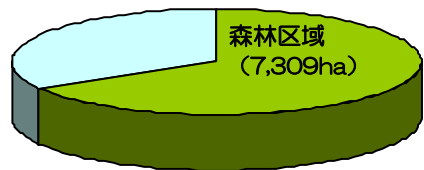
## 河内長野市は「第2期かわちながの森林プラン」をつくり、森林資源の循環利用を推進します！

※計画期間は、平成29年度から10年間とします。

### 河内長野市と森林

市域の7割が森林

河内長野市の森林面積  
(市域総面積 10,963ha)



本市は市域面積の67%に当たる7,309haが森林区域となっており、豊かな自然環境を保全し、次世代に引き継ぐ必要があります。

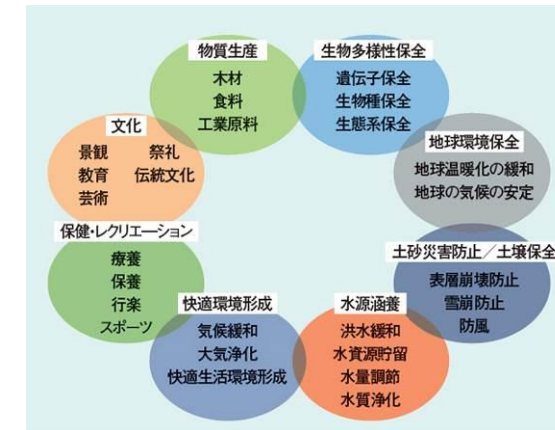
### 森林資源の循環利用

森林は「植える→育てる→使う→植える」という森林資源の循環利用を推進することで、適切な森林整備が確保されるとともに、将来にわたる森林の多面的機能の発揮に繋がります。そのため、市内の恵まれた資源である「おおさか河内材」の活用が必要です。



森林資源の循環利用のイメージ (林野庁HPより)

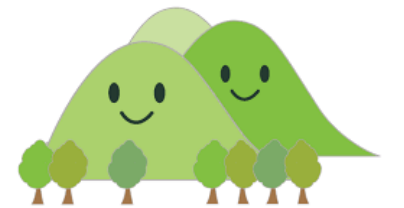
### 森林の多面的機能



森林は、様々な働きを通じて人々の生活の安定・向上と経済活動の健全な発展に貢献しています。

### 豊かな森林づくり基金

河内長野市では、市民参加による森林保全を目的として市民から水道使用量1㎡当たり1円(平成29年4月時点)を頂き、寄附金と合わせて豊かな森林づくり基金としての積み立てをし、水源地の森林保全に役立てています。



## 3つの基本方針

「第2期かわちながの森林プラン」では3つの基本方針として目標とする森林の状態を明確にし、施策ごとに実施主体を示した実行プランを策定し推進していきます。

### 多面的機能保全のための森林

#### ◆環境を重視した森林整備の推進

混交林や広葉樹林は、水源涵養機能や生物多様性保全機能等の多面的機能が人工林より高いと言われています。そのため、手入れがされず放置された森林や、立地条件等から林業経営を続けることが困難な森林について、混交林や広葉樹林への誘導を図ります。

#### ◆100年の森林づくりの推進

長伐期施業により、吉野林業に負けない、高齢級の優良材を産出する森林づくりを推進します。



適切な間伐の実施により森林の多面的機能を確保します。(整備イメージ)

※令和3年度から、「◆環境を重視した森林整備の推進」と「◆100年の森林づくりの推進」を合わせて「◆森林経営管理制度による森林整備の推進」という形に変えて進めていきます。

### おおさか河内材生産を担う森林

#### ◆おおさか河内材の利用促進

おおさか河内材を売り込むための戦略を立案します。

#### ◆生産体制・製造体制の構築

主伐・間伐の推進を図るとともに、おおさか河内材の安定供給を図るための製造流通の仕組みづくりを行います。

#### ◆人材育成

おおさか河内材の生産を担う人材を育成します。



＜おおさか河内材の使用例＞



河内長野駅構内の内装材



子ども子育て総合センター「あいっく」

### 学び楽しむための森林

#### ◆市民との協働による森林づくり

行政や森林所有者だけでなく、市民やボランティア団体等さまざまな主体の協働により、主体的に森林づくりを行うことを目指します。

#### ◆企業・研究機関との協働による森林の利活用

より多くの企業・教育機関に市内の森を活用いただくための設備整備、連携体制強化、森林整備を行います。

#### ◆広報活動の推進

市民自らが森林を守り育てる意識を持ってもらうとともに、森林の持つさまざまな多面的機能の重要性を理解してもらうため、市民へのPR活動や森林・林業体験学習を行います。

#### ◆レクリエーションとしての森林活用

市内外の住民がレクリエーションや観光、健康等を目的として訪れる仕組みの整備、森林ESD事業を行います。



小学生を対象とした間伐体験